

2018年度 りてらこや新潟 活動報告

『未来をつかむサバイバル 元「外国につながる子ども」奮闘記』出版

新潟県ろうきん福祉財団様の助成により、同上書籍と中国語版、英語版の出版に関わる作業を行いました。8人の元「外国につながる子ども」で今は県内外で活躍している若者に代表がインタビューして、上記の本にまとめました。インタビューには、勉強会に参加したことがある人もいますし、そうでない人もいます。

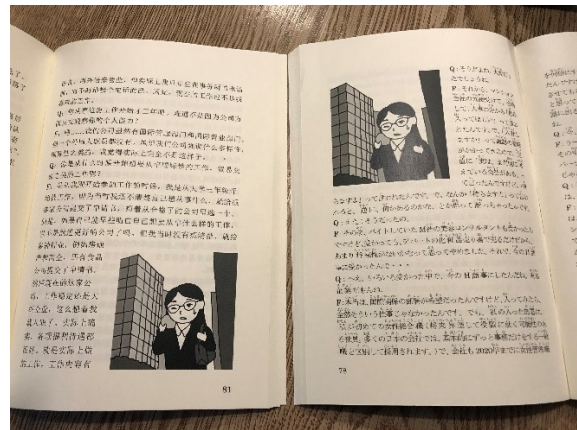
英語の翻訳は、以前、教科書の英訳のボランティアをしてくださったグラハムさん、中国語の翻訳は、教科書の中国語訳や、学習会の学習支援ボランティアをしてくださった王鼎さんをお願いしました。校正作業や様々な助言など、りてらこや新潟のボランティアの皆様のご協力のもと、作成しました。

一度、日本語版と中国語版は発売にこぎつけたのですが、不備があったため、いったん発売を中止しています。現在、日本語、中国語、英語の各版の改訂を行っているところです。本の表紙のサイズは A5 で、日本語は漢字にふりがながついてます。1冊1500円程度で販売する予定です。

日本語版と中国語版の表紙の写真



中身の写真(左:中国語版 右:日本語版)



長期休み中の勉強会

春、夏、冬休みは、例年どおり、万代市民会館で勉強会を開催しました。

春休み勉強会の様子



夏休み勉強会の様子



冬休み勉強会の様子



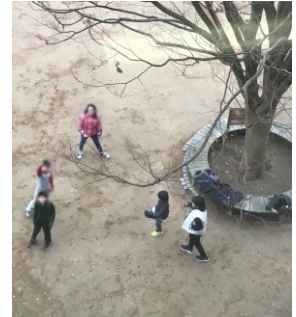
春休み勉強会の休憩時間



夏休み勉強会の休憩時間



冬休み勉強会の休憩時間



夏休み、冬休み、春休みの勉強会

2017 年度は、夏、冬、春の長期休みに、勉強会を開催しました。新潟県ろうきん福祉財団様の助成による事業です。毎回平均 6 人くらいの外国につながる児童生徒の勉強を、社会人、学生、留学生のボランティアがサポートしました。休憩時間は、みんなで一緒にサッカーしたり、バスケットをしたりして、交流を深めました。



夏休み勉強会の様子と冬休み勉強会の休憩時間の様子

日本語教育学会秋季大会に参加

11月25日、26日に新潟市にあるときメッセで、日本語教育学会秋季大会が開かれました。25日のシンポジウム『ひと・まち・しごと』創成を支えることばの教育』で、代表がパネリストの一人として参加し、「りてらこや新潟」の子どもたちと題して発表しました。

学会のチラシ(左)と新潟日報 2017年11月26日(日)のコピー



公益社団法人日本語教育学会 主催
2017年度秋季大会・社会啓発委員会企画特別プログラム

2017年
11月25日(土)
10:00～12:00
新潟・朱鷺メッセ
メインホールB

《シンポジウム》

**「ひと・まち・しごと」
創成を支えることばの教育**

一次世代を育てる日本語教育からの発信

発表題目・パネリスト

- ◆複数言語・文化環境での子育て
クローエ・ヴィアート (順天堂大学国際教養学部 フランス語講師)
- ◆母語教育支援「りてらこや新潟」の子どもたち
佐々木香織 (りてらこや新潟 代表)
- ◆長岡市の外国人住民との地域づくり・人づくり
羽賀友信 (長岡市国際交流センター「地球広場」センター長)
- ◆多文化化する社会の市民性教育
藤原孝章 (同志社女子大学現代社会学部 教授)

司会：足立祐子 (新潟大学 教授)
コーディネータ：
齋藤ひろみ・岡本能里子・嶋田和子 (日本語教育学会社会啓発委員会)

後援：新潟県教育委員会
新潟市教育委員会

外国人支援で意見交換 新潟 日本語教育学会がシンポ

日本語教育の研究者が研究成果を発表する日本語教育学会秋季大会が25日、新潟市中央区の朱鷺メッセで始まった。市民を対象としたシンポジウムも開かれた。

日本語教育の研究者が写真、県内外で活動する団体の代表や専門家ら4人が登壇。地域での日本語指導を通じた外国人支援などについて意見を交わした。同学会は毎年秋に地方都市で大会を開いており、初めて一般向けのシンポジウムを企画した。日本語教師や研究者ら約150人が参加した。

新潟市内の小中学校で日本語指導に携わる団体「りてらこや新潟」の佐々木香織代表は、日本語が理解できず、授業に全くついてい

けない児童・生徒がいる現状を説明。外国人支援について「英語ができなくても、易しい日本語で通じることが多い」と呼び掛けた。

長岡市国際交流センターの羽賀友信センター長は、留学生が講師を務める市民講座や外国人への起業支援などの活動事例を紹介。「外国人の出番をつくることで、地域に貢献してもらえ」と強調した。

参加した東京都の団体職員蓮井理恵さん(仮名)は「さまざまな方法の支援を知ることができた。外国人の居場所づくりの重要性を感じた」と話した。秋季大会は26日も開かれる。

2016 年度 りてらこや新潟 活動報告

小学校 5 年生社会科教科書ルビ版、中国語訳版 作成

新潟県社会福祉協議会様県民助けあい基金の助成を受けて、小学校 5 年生の社会科教科書(上・下)のルビ版と中国語訳版を作成しました。小学校 5 年生は主に日本の地理を学習するので、中学校の社会科でも使う語彙が多く出てきます。学習言語として非常に重要な言葉といえます。新潟大学の留学生に中国語訳をしてもらい、中国語訳を必要とする児童数名に送付することができました。

中学校既卒生徒の学習支援 長期休業中の勉強会 開催

2016 年度は新たに新潟NPO基金様より助成を受けて、長期休業中の勉強会を開催しました。2015 年度、中学校を卒業後来日した生徒及びその保護者から、日本語指導や学習支援の希望が多く寄せられたことを受け、中学校既卒の外国にルーツのある生徒の学びの場として、長期休業中の勉強会を開催しました。前年度までと同様、新潟市内の小中学校に在籍している児童生徒や高校に入学した生徒も参加して、大勢でにぎやかな勉強会となりました。なお、高校入試を受験した生徒 3 人(内 2 名が既卒来日生徒)は、全員第一希望の公立高校への入学が決まりました。

↓ 冬休み勉強会(2017 年 1 月)の休憩時間の様子



夏休み勉強会の様子(2016 年 8 月中旬)



春休み勉強会の様子(2017 年 3 月末)

2016 年度日本語教育学会 研究集会第 3 回北陸地区(金沢)地域日本語教育ポスター報告・情報交換会参加

6 月 26 日石川県政記念しいのき迎賓館セミナールームで開催された、上記研究会のポスター発表と情報交換会に参加してきました。主に石川県の国際交流関係団体や地域のボランティア日本語教室、外国につながる子どもの支援に関わる団体の方々と、お互いの活動の様子や問題点などを話し合うことができました。左の写真の左から 2 番目がりてらこや新潟のポスターです。(マルチメディアDAISY教科書のデモンストレーション用にタブレット端末を置いてあります。)



2015 年度 りてらこや新潟 活動報告

『中学生の日本語』タイ語版 作成事業

内田エネルギー財団様の助成を得て、昨年度作成した『中学生の日本語』のタイ語版を作成しました。新潟県内にタイ人の小中学生は、数名程度ですが、子どもが使える日本語教材自体が少なく、また、タイ語が分かる指導者も少ないため、日本語学習や教科学習に大変困難があると考え、タイ語版を作成しました。

見本 (『中学生の日本語』タイ語版 P49 より)

ほか せんせい 先生に、担任 たんになん の先生 せんせい がどこにいるか聞きましょう。

ถามอาจารย์ท่านอื่นว่าคุณ อาจารย์ประจำชั้นอยู่ไหน

すみません、〇〇先生はどちらですか。

ขอโทษนะคะ ไม่ทราบว่า อาจารย์〇〇อยู่ไหนคะ

〇〇に先生の名前を入れます。

ใส่ชื่อของอาจารย์ที่ 〇〇

〇〇先生は体育館にいますよ。

อาจารย์〇〇อยู่โรงยิมนะคะ

ありがとうございました。ขอบคุณค่ะ

きょうむ しつ 事務室の先生 せんせい に、担任 たんになん の先生 せんせい がいるかいないか聞きましょう。

ถามอาจารย์ในห้องพักครูว่า อาจารย์ประจำชั้นอยู่หรือเปล่า

失礼します。〇〇先生はいらっしゃいますか。

ขอโทษค่ะ อาจารย์〇〇อยู่ไหมคะ

ノックしてから…

เคาะประตูก่อน

長期休業中の勉強会

2013 年度より継続で、新潟県ろうきん福祉財団様の助成を受けて、外国から来た児童生徒を対象にした長期休業中の勉強会を開催しました。2015 年度は、出身国で中学校を卒業してから来日した生徒が 4 人もいたため、高校入試に向けた学習支援に力を入れました。また、参加者数も多く、りてらこや新潟の事務所では入りきらないため、万代市民会館の研修室等を借りての開催となりました。また、学習ボランティアには、新潟大学の R's という外国から来た児童生徒の学習支援を行うサークルの学生さんにも参加していただき、様々な教科学習のサポートをしてもらいました。おかげさまで、4 人全員が第一希望の高校に入学が決まりました。



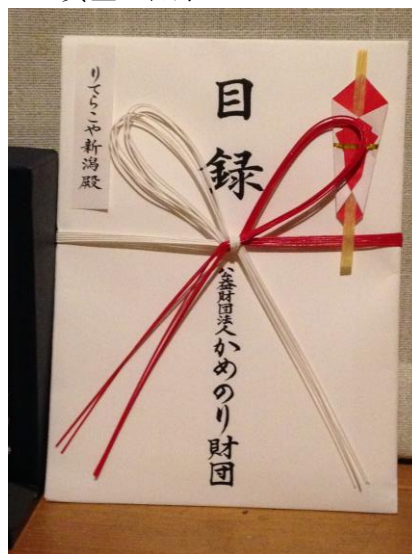
第9回 かめのり財団「かめのり賞」受賞

かめのり財団は、日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を通じて、未来にわたって各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となるグローバル・リーダーの育成をはかることを目的に活動している公益財団法人で、かめのり賞は、交換留学、文化・スポーツの青少年交流、語学教育など、日本とアジア・オセアニアの相互理解の増進に草の根で貢献している方々の活動を顕彰し、支援するものです。このような賞をいただきましたのは、ひとえにこの活動を支えてくださっている賛助会員の皆様、ボランティアの皆様のおかげだと思います。この賞に恥じないように、さらに精進してまいりたいと思います。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

かめのり賞 記念の盾



賞金の目録



かめのりフォーラム2016 第9回かめのり賞表彰式(2016年1月8日東京のアルカディア市ヶ谷にて)



http://www.kamenori.jp/kamenorishou_award9.html より

にいがたNPO基金「ひとくちの寄付」に参加

活動費のほとんどを助成金に頼っている現状をかんがみ、広く一般のご寄付を募るべく、にいがたNPO基金が運営する「ひとくちの寄付」に参加させていただくことにしました。1口千円から郵便振替、新潟県労働金庫(ろうきん)口座からの口座振替(手数料無料。窓口で申込みをして頂く必要があります)などがご利用いただけます。

2016年からスタートです。どうぞよろしくお願ひいたします。

2014 年度 りてらこや新潟 活動報告

Gooddo (グッドゥ:NPO団体等の寄付を募るサイト)に参加

2014 年 3 月に、Gooddo(グッドゥ)という、NPO団体に寄付したい人と資金を必要とするNPO団体を結ぶソーシャルプラットフォームに参加が認められました。寄付をしたい人は、ホームページに掲載されている団体のページにある「応援する」ボタンをクリックするだけで、実際にお金を払う必要はありません。「応援する」ボタンをクリックして出たポイント数に応じて、Gooddoの協賛企業様がNPO団体等に寄付金を払うこととなります。協賛企業様は、各NPO団体等のフェイスブックのページに広告が掲載されることで、宣伝費用を抑え、企業イメージのアピールができるという仕組みです。こちらのページ <http://gooddo.jp/gd/group/literakoya/>の「応援する」ボタンを、お時間のあるときにクリックしていただければ幸いです。(1日1回までです。)よろしくお願いいたします。

『中学生の日本語』(来日した中学生が日本語を自習できる教材)中国語版・英語版 作成

これまでりてらこや新潟では、小学校の社会科の教科書を中心にルビ付き、翻訳付教材を作成してきましたが、来日したばかりで日本語が分からない生徒が授業時間を使って日本語の概略が学べる教材が必要ではないかと考え、新潟県社会福祉協議会様、県民助けあい基金の助成を得て『中学生の日本語』という教材を作成しました。

日本人がひらがなやカタカナを学ぶための教材はたくさん出版されていますが、いずれも幼児対象のもので、小学校高学年や中学生の、特に男子生徒が教室で開くには抵抗があるデザインのものも多く、またそこで取り上げられている語彙も、学校生活ですぐ必要な単語ではないため、新たな教材が必要だと考えました。また、中学生にとって必要な授業でよく使われる語彙や英語の授業に必要な表現や文法などを取り上げることで、日本語力の向上というよりは、教科学習への第一歩としての教材といえるものです。ホームページの「教材ダウンロード」のページからどなたでも利用できます。今後は、中国語版以外の言語のものも作成したいと考えています。

見本

英語版 P45 より ↓

ともだちに家族のことを話しましょう。Talking to friends about home.
わたし/ぼくは ___ 人家族です。
___ と ___ と ___ と ___ と わたし/ぼく です。
(___ enter the number of people in your family, ___ enter who they are, brother, sister aunt etc.)
別の所に住んでいる家族がいる場合。
If you have family members who live elsewhere,
___ は ___ に います。
(___ enter the name of your parents etc., ___ enter where they live) ↓
例 祖母はロンドンに住んでいます。My grandma lives in London.

中国語版 P45 より ↓

ともだちに家族のことを話しましょう。和朋友说说家里的情况
わたし/ぼくは ___ 人家族です。我家里有 ___ 个人。
___ と ___ と ___ と ___ と わたし/ぼく です。
在 ___ 中填写家庭人数, 在 ___ 中填写家庭成员。
別の所に住んでいる家族がいる場合 家人在别处居住的情况
___ は ___ に います。
在 ___ 中填写家庭成员, 在 ___ 中填写居住地。
例 祖母はロンドンに住んでいます。
例 祖母住在伦敦。

英語版 P70 より →

数学の言葉 9 Words for math 9 合同、対称 Congruence, Symmetry.
数学では、「同じ」を「等しい」と言うことが多いです。
In mathematics, 「同じ」(same) is often described also as 「等しい」(equal).
 $\angle A = \angle B$ 角Aは角Bと等しい 角Aは角Bに等しい
Angle A is equal to Angle B.
また、同じ大きさで、同じ形の図形を合同な図形と言います。
If a figure has the same shape and size as another, they are called congruent figures.
 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ 三角形ABCは三角形DEFと合同である。
Triangle ABC and DEF are congruent triangles.
下の次の図のように、ある直線を折り目にして折ったとき、ぴったり重なる図形を「線対称」な図形と言います。その折り目のことを「対称の軸」と言います。
If a shape is folded in half over a straight line as fold ridge line and the two halves exactly overlap each other, the shape is called a "line-symmetric" figure. The fold ridge line is called an "axis of symmetry".
線対称な図形 Line-symmetric figures
The fold ridge line = Axis of symmetry
折り目=対称の軸
線対称な図形 轴对称图形
轴对称图形
折り目=对称的轴

中国語版 P70 より →

数学の言葉 9 数学语言9 合同、対称 全等和对称
数学では、「同じ」を「等しい」と言うことが多いです。在数学中相同的经常会被称作等于。
 $\angle A = \angle B$ 角Aは角Bと等しい 角Aは角Bに等しい
角A等于角B 角A和角B是相等的角。
また、同じ大きさで、同じ形の図形を合同な図形と言います。
另外我们把相同的图形称为全等图形。
 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ 三角形ABCは三角形DEFと合同である。
三角形ABC和三角形DEF是全等三角形。
下の次の図のように、ある直線を折り目にして折ったとき、ぴったり重なる図形を「線対称」な図形と言います。その折り目のことを「対称の軸」と言います。
下图中我们把沿一条直线对折后能够完全重合的图形称为轴对称图形, 将这条折线称为对称轴。

長期休業中の学習会 開催

2013 年度、新潟県勤労者福祉厚生財団様の助成を受けて開催した長期休業中の勉強会を、同財団(現、新潟県ろうきん福祉財団様)の助成により、引き続き開催することになりました。小中学校の、春、夏、冬休みの期間中、りてらこや新潟の事務所を会場に、ボランティアの社会人、大学生、大学留学生が、市内の小中学校に在籍する外国ルーツの小中学生の宿題の手伝いをしたり、日本語を教えたり、一緒に遊んだりして過ごしました。



学習ボランティア派遣 事業

新潟県ろうきん福祉財団様(旧新潟県勤労者福祉厚生財団様)の助成を受けて、日本語指導者の派遣制度がない地域や、日本語指導者の派遣回数が足りなくなった学校への学習ボランティア派遣事業を行いました。

新潟は外国人集住地がなく、外国から来た児童生徒が在籍する学校が散在しており、特に中山間地では支援者が少なく、支援者、児童生徒双方にとって移動が困難である場合が多いので、今年度、同上財団様による助成で、ボランティアに交通費を支払うことができ、支援が充実しました。大変ありがたかったです。



10月から3月まで週1回
(新潟駅から電車で1時間ほどの所にある学校)



5月から2月まで週2回程度
(新潟市内の学校)

2013 年度の活動報告

ふり仮名付・中国語訳付教科書の作成

2013 年度は、『私たちの新潟県(平成 25 年度版)』のフリガナ+中国語訳版を作成しました。また、『小学社会 5 年上・下』(教育出版)のフリガナ版を作成しました。

Intercultural シャベリ場 開催

新潟県勤労者福祉厚生財団様より助成をいただき、外国につながる子どもの交流スペースとして、年 6 回「Intercultural シャベリ場」を開催しました。また、夏休みと春休みには、学習会を開催し、ボランティアの先生と一緒に勉強したり、おしゃべりしたりして交流する機会を作りました。さらに、インターネットで交流できるよう、Intercultural Students' Forum 外国につながる生徒の広場を作成しました。サイトは[こちら](#)をクリックするとご覧になれます。(サイトの改訂に伴い、2018 年 10 月に閉鎖しました。)

Intercultural シャベリ場と勉強会のチラシと当日の様子



「マルチメディアデージーとは何か」講演会を開催しました。

新潟県県民たすけあい基金の助成により、日本障害者リハビリテーション協会様と共催で、2014 年 2 月 22 日(土)、新潟国際情報大学中央キャンパスで開催しました。新潟県社会福祉協議会、新潟市教育委員会から、後援をいただき、特別支援教育に関わる方々が参加くださいました。



読めなくても勉強できる!! 聞く+見るで効果的!!

マルチメディア デージー とは何か?

参加費無料
先着限
定員30名

読み上げているところに色が
つくから目で追やすい。
他にも工夫が
いっぱい!!

マルチメディア デージー図書「こんぼ」をAMISで再生しているところ
(公財)日本障害者リハビリテーション協会(ホームページより)
AMISは無料でダウンロードできるデージー再生ソフトです。

日時 2014年2月22日(土) 13:30~16:30(受付13:00~)

場所 新潟国際情報大学中央キャンパス
〒951-8068 新潟県新潟市中央区上大川(前通7番町)1169

研修内容

- 講師 埼玉県立坂戸高等学校 教諭 井上芳郎氏
「発達障害者等へのICT支援」
- 講師 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 情報センター 吉広真史氏
「デージー教科書を使ってみよう」
- 講師 特定非営利活動法人 支援技術開発機構 副理事長 河村宏氏
「これからのデージーとEPUB」

資料の準備の都合上、事前に申し込みください。定員になり次第、締め切ります。
申し込み・問い合わせ **りてらこや新潟(佐々木)** 090-6684-2346
literakoya_nlgata@yahoo.co.jp

共催/日本障害者リハビリテーション協会、りてらこや新潟 後援/新潟市教育委員会、新潟県社会福祉協議会

宣伝用チラシ→

2012年度の活動報告

ふり仮名付・中国語訳付教科書の作成

2012年度は、新潟県勤労者福祉厚生財団様より助成をいただき、『私たちの新潟県（平成24年度版）』、『わたしたちの新潟県』、のフリガナ版と、フリガナ+中国語訳版を作成しました。また、『小学社会6年上』（教育出版）のフリガナ版と、フリガナ+韓国語版、『小学社会6年下』（教育出版）のフリガナ版と、フリガナ+英語訳版を作成しました。

さらに2011年度に開始したDAISYマルチメディア教材の作成にも引き続き取り組みました。『わたしたちの新潟県（平成24年度版）』が完成しました。作業が難航したため、年度内に利用していただくことはできませんでしたが、新潟市中央図書館内の学校図書館支援センターの方や、新潟市特別支援教育サポートセンターの方にご覧頂き、DAISYマルチメディア教材についてご説明させていただきました。

みんなの日本語練習場 改訂

新潟県勤労者福祉厚生財団様より助成をいただいで、2012年度中に、新潟県内の外国につながる児童生徒の実態調査に取り組もうと考え、新潟県教育委員会義務教育課の方と相談させていただきました。しかし、児童生徒及びその家庭のプライバシーの問題や現場の先生方の多忙等の理由で、今年度は調査実施は不可能だったので、この予算を利用して、以前代表が作成した上記サイトの改訂させていただきました。また、プリンターを新規に購入する費用にあてさせていただきました。

なお、実現しませんでした。調査に関しては準備段階で、新潟市議会議員の青木学さん、新潟県議会議員の若月仁さん、敬和学園大学の有田佳代子先生にも大変お世話になりました。この場を借りて、心から御礼申し上げます。

みんなの日本語練習場はこちらをクリックしてください。(2018年10月サイト改訂に伴い、閉鎖中)

学習支援・教育相談の開始と事務所開設

2012年度から、電話やメールを通じて、外国につながる子どもの教育相談を開始しました。また、直接学習支援も開始しました。そこで、落ち着いて学習や相談ができるように、事務所を開設しました。これらの事業は新潟県社会福祉協議会様の県民助け合い基金からご支援いただきました。

写真はボランティア（左）による英語の学習支援の様子。

りてらこや新潟事務所内にて



2011 年度の活動報告

新潟県弁護士会人権賞 授与されました

2012 年 2 月に新潟県弁護士会様より、新潟県弁護士会人権賞を授与されました。外国から来た子どもがきちんと教育が受けられるように、と翻訳教材やルビ教材を作っていました。マイノリティー言語話者の教育権、言語権について理解されたことは、大変うれしく思います。

りてらこや新潟の活動を支えてくださっているすべての皆様と喜びを共有したいです。ご支援ありがとうございました。授賞式には副代表の廣川さんが出席してくれました。新聞でも紹介されました。

ふり仮名付・中国語訳付教科書の作成

2011 年度は、新潟県勤労者福祉厚生財団様より助成をいただき、『私たちの新潟県（平成 22 年度版）』、『小学社会 6 年上・下』（教育出版）のふり仮名版と、中国語訳版を作成しました。2011 年 3 月に東日本大震災が発生し、例年より留学生が少なかったこともあり、作業が遅れてしまいました。また、今回は試験的に紙版を作成しないでウェブ版のみの作成としました。

さらに今年度は DAISY マルチメディア教材の作成にも取り組みました。こちらも作業が遅れたため、年度内に試用していただくことはできませんでしたが、2012 年度、是非継続したいと思えます。

今年度はもう一つ新しい教材作成に取り組みました。英語圏の学習者用向けのかなを覚えるためのウェブ教材です。500 円の寄付でひらがなか、カタカナのどちらかを利用できるようにする予定です。

パンフレットの作成・ウェブの多言語化作業

新潟県社会福祉協議会様の県民助け合い基金による助成で、りてらこや新潟のパンフレットと、封筒を作成しました。また、ホームページを改訂、多言語化しました。また相談受付用に携帯電話を購入しました。2012 年度は小中学校、進学などの相談業務も始めたいと思えます。

3 つの多言語講座開催

新潟県国際交流協会様の国際化推進活動助成により、2011 年 9 月に国際化を担う子どものリテラシー教育に関する 3 つの多言語講座を開催さいしました。

上越教育大学の原瑞穂先生、東京みらい大学の松崎カレイラ順子先生を講師にお迎えし、外国から来たお子さんのリテラシー教育、バイリンガル教育について、お話いただきました。

2010 年度の活動報告

ふり仮名付・中国語訳付教科書の作成

2010 年度は、新潟県勤労者福祉厚生財団様より助成をいただき、『私たちの新潟県（平成 22 年度版）』、『小学社会 6 年上』（教育出版）のふり仮名版と、中国語訳版を作成し、50 部ほど県内の日本語が分からないお子さんや特別支援学級のお子さんに提供することができました。

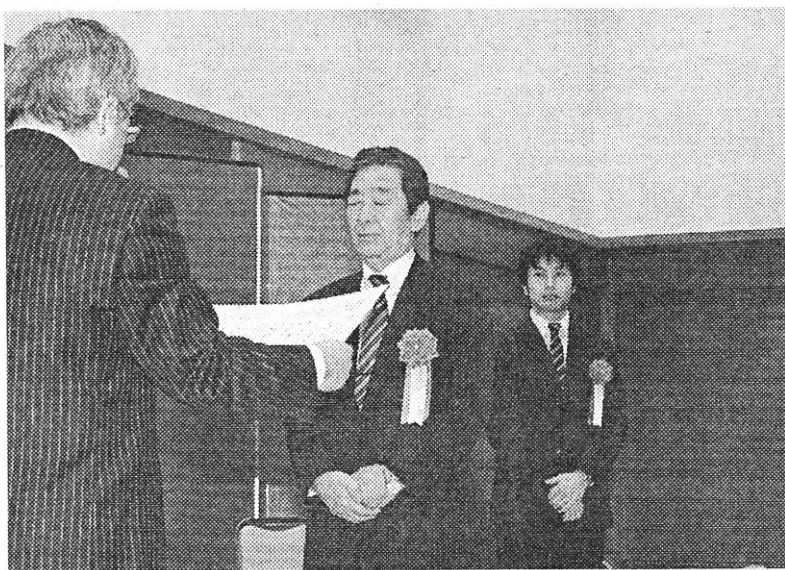
助成してくださった勤労者福祉厚生財団様並びに、教科書作成にあたり、コピー作成等を許諾してくださった教育出版様、県内の小学校にご連絡くださった新潟県内の教育委員会の皆さまに心から感謝申し上げます。

少年を雇用 更生手助け

県弁護士会が人権賞

外国人児童の学習支援

県弁護士会は24日、「2011年度人権賞」を新発田市協力雇用主会会長の安田光一さん(64)と同市と、外国人児童の学習支援グループ「りてらこや新潟」(新潟市中央



県弁護士会の「人権賞」の賞状を受け取る安田光一さん(中央)と「りてらこや新潟」の広川智さん=24日、新潟市中央区

区、佐々木香織代表)にそれぞれ贈った。同賞は1997年に創設。人権意識の啓発につながる活動を行う個人・団体を表彰している。製造会社社長の安田さ

んは94年から少年院を出た少年らを雇用し、更生を支援。「再犯防止に重要な役割を果たした」と評価された。一方、りてらこや新潟は09年に設立され、留学

生有志らの協力を得て、小学校の教科書に振り仮名や外国語訳を付け、無料配布している。「外国人の子どもの教育権を守り、多文化共生のために意義深い」として受賞が決まった。

同日、新潟市中央区で贈呈式が行われ、安田さんは「長引く不況で雇用

がない状況では少年の更生は難しい。今後も支援を続けていきたい」とあいさつ。りてらこや新潟の副代表・広川智さん(39)は「母国語で教育を受けることも人権という意識が浸透してほしい」と佐々木代表のコメントを読み上げた。

非行少年更生へ50人雇用

在日外国人の子 教育に力

県弁護士会、2人に人権賞

県弁護士会は2011年度の「人権賞」に、新発田市石油タンク建設会社「安田組」会長の安田光一さん(64)と、在日外国人の子どもへの日本語理解や母語教育の支援をする「りてらこや新潟」代表の佐々木香織さん(45)を選んだ。

人権賞は、基本的人権の侵害に対する救済活動や人権思想の普及に功績をあげた個人や団体に贈っており、先月24日、新潟市で11年度の受賞者・団体への贈呈式があった。

安田さんは1994年、更生中の少年たちを積極的に雇い入れる新発田市協働雇用主会に入り、少年院を出た少年らをこれまでに約50人雇ってきた。TBS系列で放映されたドラマ「3年B組金八先生ファイナル」の登場人物のモデルに

なった。「はじめに生きろ、将来楽しいことがあるぞ」。少年たちにそう語りかけてきたという安田さんは、贈呈式で「全員が更生できたわけではないが、半数は再犯せず会社の力になっていく。これからも彼らの更生に力を尽くしたい」と話した。



「人権賞」の賞状を贈られ、スピーチする安田さん(左)と「りてらこや新潟」副会長の広川さん(新潟市中央区川端町6丁目)

「りてらこや新潟」は佐々木さんが2009年に立ち上げ、外国人の子どもが使う日本語の教材を翻訳したり漢字にルビをふったり

して、資料集などの冊子にして授業への理解を手助けしている。留学生や大学生がボランティアとして参加し、冊子は小学校へ配ったり、ホームページに載せたりしている。

贈呈式には副会長の広川智さん(39)が出席し「日本語を母語としない子どもたちがリテラシー(読み書きの能力)をつけられるよう、今後も一層努力したい」と、佐々木さんのメッセージを代読した。

(高見沢恵理)

2019 年度の活動報告

夏休み、冬休み、春休みの勉強会

2019 年度も、夏、冬、春の長期休みに、勉強会を開催しました。新潟県ろうきん福祉財団様の助成による事業です。毎回5, 6人くらいの外国につながる児童生徒が来て、宿題や日本語の勉強をしています。休憩時間は公園でサッカーしたり、部屋でカードゲームをしたりして、交流をしています。てらこや新潟の社会人、学生、留学生のボランティアも、楽しく勉強と遊びのサポートをしています。リピーターも多いですが、新規に来る児童生徒もいて、勉強会の存在意義が再確認できました。



夏休み勉強会と冬休み勉強会の様子



漢字クイズを出し合っているところ



書き初めの宿題を手伝ってもらっているところ



休憩時間はサッカー！

新潟日報で紹介されました。

2019 年4月から入管法が改正され、新しい在留資格「特定技能」が創設されました。特定技能2号の在留資格があると、家族と一緒に日本に住むことができるので、日本語がわからない子どもが多く来日する

ことが予想されるということもあってか、マスコミから取材を受ける機会が多かったです。記事になったものはこちら(↓)からお読みいただけます。

[読売新聞新潟県版 2019年1月19日の記事を読む](#)

(PDF が開きます)

[新潟日報 2019年4月1日の記事を読む](#)

(PDF が開きます)

[新潟日報 2019年5月12日の記事 ↓](#)

新潟日報2019年5月12日 Column

座標軸  外国人の子ども

外国人の子どもたちに日本語を教えている新潟市の団体「りてらこや新潟」の代表 佐々木香織さんから、間もなく刊行するという冊子をいただいた。

タイトルは「二元『外国につながる子ども』の奮闘記」。「外国につながる子ども」とは、親が外国出身で、外国の言葉や文化を持つ子を指している。

冊子では、かつて県内の学校に通っていた若者9人を佐々木さんがインタビュー形式で紹介している。日本に来て、どう学んできたかなどが率直に語られている。

中でも母親がフィリピン人の男性の話には心を打たれる。

日本の小学校に4年で転入し、1年生の漢字ドリルを必死にやっていた。高校ではいじめに遭い、1年留年した。

卒業後はコンビニでバイトをして、フィリピンにいる妹の学費に充ててきた。進学して、自動車整備士になるのが夢だが、「まずは妹を卒業させてから」と話す。懸命に生きる姿が伝わってくる。

人手不足を背景に、外国人労働者の門戸を広げる改正入管難民法が4月、施行された。県内でも外国人が増えそう。その子どもの姿もより身近になるだろう。

彼らを受け入れる態勢整備を急がねばならないが、それには今の実情を理解することが大事だ。

冊子はその助けとなる。佐々木さんは「日本で未来をつかもうと奮闘している姿を知りきっかけにしてほしい」と願っている。冊子については「りてらこや新潟」のホームページから問い合わせを。

(論説編集委員・山田孝夫)

受け入れを整えるために

『未来をつかむサバイバル元「外国につながる子ども」奮闘記』 お買い求めは[こちら](#)からどうぞ。

中国語版『探求未来生存之路 ——八位日本移民儿童的奋斗故事』 は[こちら](#)からどうぞ。